

CK だより

ちゅうぶ こうはん

2023年 4月

地域の皆さまとの輪 中部鋼鉄をご紹介します

発行：中部鋼鉄株式会社 総務部



ごあいさつ

日頃、皆さまには中部鋼鉄の事業についてご理解とご協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

昨今、カーボンニュートラルの実現に向けた社会的な要請が高まっています。当社もCO₂の排出量が少なく、環境負荷が低いとされる電気炉厚板メーカーとして、循環型社会、脱炭素社会にいっそう貢献して参りたいと考えております。今後も地域の発展と共に、企業価値の向上を目指して参りますので、引き続き変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、よろしく願い申し上げます。

さて今回の広報誌では、地域の皆さまに当社への理解をより一層深めていただけるよう、施設の紹介やさまざまな取り組みをご紹介します。

 代表取締役社長 **重松 久美男**


中部鋼鉄の所有する近代化遺産 <ラウト式 3重厚板圧延設備の減速機大ギヤ>

1960年に当社に譲渡された3重圧延機は、当地に移設した翌年から1986年に4重圧延機に更新されるまで25年間稼働していました。圧延機の撤去にともない、大ギヤは近代化遺産として当社で保管されることになりました。ちなみに、本社前の緑地庭園のモニュメントである大ギヤは1973年に大谷重工業（現：合同製鐵）で製造された2代目です。

2代目 大ギヤ



外径4.2m 総重量60トン



大ギヤ(歯車)は、圧延機のロール回転速度を制御する役割を担っています。

※圧延機とは、ローラ間に金属を通して、所定の厚みの鋼材を製造する機械です。

初代 大ギヤ (非公開)



初代の大ギヤは現在も当社の構内に保管されています。その歴史は1937年に製造されたとされており、1960年に八幡製鐵(株)（現：日本製鐵）から移設され、1973年まで稼働していました。その構造は、強度向上のため半円二体を継いだ構造となっており、製造された当時はこのような大型鋳鋼製品を一体で製造する技術が無かったとされています。



本社前モニュメント

1987年に本社社屋が完成した際に設置された、当社の110mm極厚鋼板と御影石（岐阜県恵那産）を組み合わせた岩組モニュメントです。最も大きな岩は8トンあり、モニュメント右側は「伸展」を、左側は「調和」を表現しています。



CHUBU KOHAN TOPICS

工場見学ルートを整備しました！

中部鋼鈹ではこれまで、近隣住民の皆さまをはじめ、当社を取り巻くステークホルダーの皆さまを対象に工場見学を実施してきました。脱炭素社会に向け、当社への注目度が高まるなか、工場見学に来られたすべての方々に事業活動や品質・環境への取り組みについて理解を深めていただけるよう、工場見学ルートを整備しました。



加熱炉前 見学ルーム



鉄づくりへの理解や鉄の重さを体感してもらえるように、製造工程や設備概要パネル、原料などのサンプルを設置しました。

圧延ミル前 見学ルーム



加熱炉で1,100℃まで加熱されたスラブ（鋼片）が圧延機で、所定のサイズまで延ばされていく様子を間近で安全にご覧いただけるよう見学ルームを設置しました。

今年度は近隣住民の皆さまを対象とした工場見学会を再開する予定です。詳細につきましては決定次第、ご案内させていただきます。

構内全面禁煙化

＜健康経営に向けての取り組み＞

2023年4月1日より、構内を全面禁煙としました。
2022年に続き、2023年も「健康経営優良法人2023(大規模法人部門)」に認定され、今後も全社員が能力を十分に発揮できるよう、これまで以上に健康維持・増進の取り組みを推進していきます。



構内禁煙のお知らせ

2023年4月1日から
構内全面禁煙



会社周辺クリーン作戦を実施しました

＜2022年4月・11月＞



2022年の4月と11月に全社行事として会社周辺の清掃活動を行いました。この取り組みは1998年より、環境美化・社会貢献活動の一環として継続して実施しています。

＜中途＞・＜新卒＞採用募集

中部鋼鈹では、2024年4月入社の新卒の採用を開始しました。また、中途採用についても募集を行っています。

中部鋼鈹に興味のある方は、右のQRコードより当社HPの採用ページをご覧ください。

モノづくりの会社と一緒に働きませんか？



中部鋼鈹の採用ページ



その他、企業情報、IR情報、CSR情報、事業情報など最新情報はWebサイトをご覧ください。

<https://www.chbukohan.co.jp/>

または

